

# Profile

## Conductor 指揮 ファビオ・ルイージ (N響首席指揮者)

1959年、イタリア・ジェノヴァ出身。デンマーク国立交響楽団首席指揮者、ダラス交響楽団音楽監督を務める。N響とは2001年に初共演し、2022年9月首席指揮者に就任。就任記念公演でヴェルディ《レクイエム》を、2023年12月のN響第2000回定期公演ではマーラー《千人の交響曲》を指揮し、この2つの記念碑的公演で共に大きな成功を取めた。またベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、R. シュトラウスなどのドイツ・オーストリア作品や、フランクやサン・サーンスといったフランス語圏の作品に取り組み、その歌心と情熱に溢れた指揮は、多くの聴衆の心を掴んでいる。2023年8月には首席指揮者としての任期が3年間延長され、2028年8月までとなった。

これまでにチューリヒ歌劇場音楽総監督、メトロポリタン歌劇場首席指揮者、ウィーン交響楽団首席指揮者、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団および同歌劇場音楽総監督、MDR (中部ドイツ放送) 交響楽団芸術監督、スイス・ロマンド管弦楽団音楽監督、ウィーン・トーンキエンストラ管弦楽団首席指揮者などを歴任。このほか、イタリアのマルティナ・フランカで行われるヴァッレ・ディートリア音楽祭音楽監督も務めている。また、フィラデルフィア管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラに定期的に客演し、世界の主要オペラハウスにも登場している。録音には、ヴェルディ、パッリニ、シューマン、ベルリオーズ、ラフマニノフ、リムスキー・コルサコフ、マルタン、そしてオーストリア人作曲家フランツ・シュミットなどがある。また、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団とは数々のR. シュトラウスの交響詩を収録しているほか、ブルックナー《交響曲第9番》の解釈は高く評価されている。メトロポリタン歌劇場とのワーグナー《ジークフリート》《神々のたそがれ》のレコーディングではグラミー賞を受賞した。

## Piano ピアノ ネルソン・ゲルナー

芸術的であり、詩的、驚くべき音楽性を誇り、その爽快で確信に満ちた演奏が世界の聴衆を惹きつける現代を代表するピアニスト。1969年アルゼンチン生まれ。1986年にブエノスアイレスのフランツ・リスト国際コンクールで第1位を受賞。ゲルナーの才能を認めたアルグリッチから奨学金を授けられ、ジュネーブ音楽院のM.ティエポのもとで研鑽を詰んだ。1990年にはジュネーブ国際コンクールで第1位に輝いた。世界各地の一流ホールでリサイタルを行っており、2024/25年シーズンにはパリのシャンゼリゼ劇場とフィラルモニー・ド・パリ、ロンドンのウイグモアホール、南フランスのラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ブリュッセルのクララ・フェスティバル、東京の浜離宮朝日ホールなどで演奏する。これまでブリュッヘン、ヘレヴェッヘ、ヤルヴィ親子、ノット、ルイージ、サロネらの指揮のもと、ロンドン・フィル、パリ管、ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管などの著名オーケストラと共演。今シーズンはコンセルトヘボウ管、フランス放送フィル、N響などに客演する。ザルツブルク、ヴェルビエ、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、BBCプロムスなどの音楽祭にも度々招かれている。室内楽にも積極的で、アルグリッチ、R.カプソン、オグリンチュクラと定期的に共演するほか、2024/25年シーズンにはN.フェン、E.モローと結成した新しいトリオで、ヨーロッパ各地で公演を行う。録音も数多い。長らく関係を築いてきたワルシャワのショパン・インスティテュートからは独創的なアルバムを数多くリリースし、ディアパソンドールを複数回受賞している。そのほかアルファ・クラシックス・レーベルからも多くのディスクを世に出しており、リスト、アルベニス、ショパン、ベートーヴェン、ブラームス、ドビュッシー、シューマン、フォーレ、そしてフランクなどの録音は国際的な賞を多数受賞。

## Orchestra 管弦楽 NHK交響楽団

1926年10月5日に新交響楽団の名称で結成。創設後まもなく、ドイツからジョセフ・ローゼンストックを専任指揮者として迎え、日本を代表するオーケストラとしての基礎を築いた。演奏活動の根幹となる定期公演は、1927年2月20日の第1回予約演奏会に始まり、第2次大戦中も中断することなく続けられた。1951年には日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなり、NHK交響楽団と改称。以来、今日に至るまで、ジャン・マルティノン、ヘルベルト・フォン・カラヤン、エルネスト・アンセルメ、ウォルフガング・サヴァリッシュ、ロヴロ・フォン・マタチッチ、ヨーゼフ・カイルベルト、ピエール・ブレーズ、オットマール・スウィトナー、ホルスト・シュタイン、アンドレ・プレヴィン、ロリン・マゼールなど、世界一流の指揮者を次々と招聘、また、話題のソリストたちと共演し、歴史的名演を残してきた。2026年に創立100周年を迎える。現在、年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏は、NHKのテレビ・FMで日本全国に放送されるとともに、国際放送や公式YouTubeチャンネルなどを通じて全世界にも紹介されている。1960年の「世界一周演奏旅行」(12か国24都市)以来、海外での演奏にも力を入れている。近年では2013年のザルツブルク音楽祭に出演し、2020年春にはベルリン、ウィーンをはじめ、ヨーロッパ主要9都市で公演を行うなど、世界最高峰の舞台での活躍が目覚ましい。2024年8月には台湾、2025年5月には「マーラー・フェスティバル」(アムステルダム・コンセルトヘボウ)への招待に合わせ、ヨーロッパでツアーを行う予定である。また社会貢献活動を事業の中核の1つと位置付け、全国の学校を訪問する「NHKこども音楽クラブ」、ファミリー向けの「N響ほっとコンサート」、被災地や病院に安らぎと元気を届ける室内楽コンサート、次世代の音楽家を育成する「N響アカデミー」など、多彩な活動を行っている。指揮者陣には、首席指揮者ファビオ・ルイージ、名誉音楽監督シャルル・デュワ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット、桂冠指揮者ウラディーミル・アシュケナージ、名誉指揮者バーヴォ・ヤルヴィ、正指揮者 尾高忠明、下野竜也を擁している。

  
さくらメイト会員に  
なりませんか?

NHK交響楽団浦安特別公演チケットを購入するなら  
**さくらメイト会員になるのがお得!**  
年会費1,000円でチケットが一般のお客様より  
ひと足早く先行でご購入可能、お値段も割引価格♪



うらやす財団チケット  
Web販売サービス

N響浦安特別公演の  
最速の予約特典がある  
プレ・イベントに  
参加しませんか?

**9月23日(月・祝)開催の  
「田村緑と探すマイ・ベストシート!」**  
参加者はイベント終了後、N響浦安特別公演のチケットを先行予約できます  
あなたのお気に入りのシートをどこよりも早くご予約ください。  
名曲「展覧会の絵」コンサートを聴けばN響浦安特別公演が10倍楽しくなります♪



イープラスチケット